

Ciné-là 6

シネラ・ニュース
June.2009 No.151

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

現代中国映画特集

特別企画

伝記映画、インディペンデント映画、ドキュメンタリーと、
バラエティに富んだ内容の作品が製作されるようになった現代中国映画を特集。



窒息

特別企画

イメージフォーラム・ フェスティバル2009

日本最大の実験映画のコンペティション、イメージフォーラム・フェスティバル。日本と世界の最新映像を紹介。



クリブリ＊クリブラ

通常上映

土本典昭監督特集

2008年6月24日に亡くなった日本を代表する記録映画作家・土本典昭の一周忌追悼上映。



映画は生きものの記録である 土本典昭の仕事

イメージフォーラム・フェスティバル2009

会期/6月3日(水)~7日(日)

観覧料/1,000円(当日1回券) 800円(前売り1回券) 2,100円(3回券) 4,500円(フリーパス券)

※前売り券はチケットぴあ(Pコード 460-772)、ローソンチケット(Lコード 81971)で発売。

※定員制、各回入替制。※障がい者、高齢者及び「わの会」割引なし。

※3回券、フリーパスはお一人用です。複数人での使用はできません。

主催:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 イメージフォーラム 協賛:日本映像学会西部支部

A 3【水】14:20 日本1 招待部門

「REFLECTION」 2008年/ビデオ/6分/石田尚志
「roboll tree」 2009年/ビデオ/5分/中西義久
「エマルジョン・ペインター」 2009年/16ミリ/5分/奥山順市
「transfer」 2008年/ビデオ/6分/佐藤義尚
「夢がしゃがんでいる」 2008年/ビデオ/29分/村田朋泰
「不確定カメラ」 2009年/ビデオ/7分/五島一浩
「Resolution,Synthesis,Re-composition」 2009年/ビデオ/23分/牧野貴



REFLECTION

F 3【水】16:30 日本6一般公募部門

「family」 2009年/ビデオ/6分/山田園子
「TA-TA TOSY TIT」 2009年/ビデオ/6分/白玖欣宏+平岡佐知子
「お話の力学」 2008年/ビデオ/6分/重田佑介
「鏡の娘」 2008年/ビデオ/18分/金子雅和
「消え失せる骨」 2009年/ビデオ/43分/三間旭浩

G 3【水】18:40 日本7一般公募部門

「ABU」 2009年/ビデオ/3分/丹下友希
「莓の触角」 2008年/ビデオ/16分/ヤジマチサトシ
「ニコトコ島」 2008年/ビデオ/47分/大力拓哉+三浦崇志
「リビング・イン・ザ・ボックス・スクエア」 2009年/ビデオ/12分/瀧健太郎

B 4【木】14:20 日本2招待部門

「De'-Sign(脱記号)20 記憶のマチエール」 2009年/ビデオ/19分/ビジュアル・ブレインズ (風間正+大津はつね)
「版#43,44(二枚舌)」 2008年/16ミリ/5分/伊藤隆介
「生態系-16-GEOID」 2009年/ビデオ/15分/小池照男
「因数ライト」 2009年/ビデオ/7分/五島一浩
「老鷹」 2009年/ビデオ/40分/萩原朔美+鈴木志郎康
「クリブリ*クリブラ」 2008年/ビデオ/5分/古川タク



クリブリ*クリブラ

H 4【木】16:30 日本8一般公募部門

「Bonne nuit, Mademoiselle」 2009年/ビデオ/6分/朝倉太郎
「ragged film #1-4」 2008年/ビデオ/24分/島田量平
「循環」 2009年/ビデオ/33分/孫宇景
「チケット売場の桜井さん」 2009年/ビデオ/6分/金東薫
「まわる日常」 2008年/16ミリ/16分/吉川諒

I 4【木】18:40 日本9一般公募部門

「Her Ironical Me」 2008年/ビデオ/15分/有川滋男
「TAYUTA」 2007-2009年/ビデオ/6分/清水好美
「tissue」 2008年/ビデオ/5分/渡辺俊介
「ある日の夢」 2008年/ビデオ/15分/佐藤安
「中村三郎上等兵」 2008年/ビデオ/38分/中村のり子

C 5【金】14:20 日本3招待部門

「クライズムの旅」 2009年/ビデオ/20分/萩原朔美
「居住迷宮」 2008年/ビデオ/5分/斎藤ナスカ
「嘘すぎる」 2009年/8ミリ/25分/ほしのあきら+横溝千夏+青柳清美
「SILHOUETTE」 2009年/8ミリ/9分/手塚眞
「INCREASE」 2008年/ビデオ/6分/中島雄介
「SHUNGA」 2009年/16ミリ/5分/田名網敬一+相原信洋
「檸檬の路」 2008年/ビデオ/13分/村田朋泰



檸檬の路

J 5【金】16:30 日本10一般公募部門

「ほんがら」 2008年/ビデオ/88分/長岡野亜

P 5【金】18:40 20世紀は終らない

「ツイスト」 2006年/ビデオ/11分/フランス/アレクシア・ワルデル
「フラフープ・サウンディング」 2007年/ビデオ/7分/インドネシア/エドウィン
「『アーリアン・ペーパーズ』をひも解く」 2009年/ビデオ/18分/アメリカ/ジェイン&ルイズ・ウィルソン
「日はキエフを照らす」 2006年/ビデオ/9分/オランダ+ウクライナ/ロセッラ・ビスコッティ
「ブンミおじさんへの手紙」 2009年/ビデオ/18分/タイ+ドイツ+イギリス/アビチャボン・ウィラセタクン
「ナプアの亡霊」 2009年/ビデオ/11分/タイ+ドイツ+イギリス/アビチャボン・ウィラセタクン



ツイスト



ブンミおじさんへの手紙

Q 6【土】10:30 ドナルド・リッチ特集

「戦争ごっこ」 1962年/16ミリ/30分/ドナルド・リッチ
「熱海ブルース」 1962年/16ミリ/20分/ドナルド・リッチ
「シベール」 1968年/ビデオ/20分/ドナルド・リッチ
「犠牲」 1959-2008年/ビデオ/15分/ドナルド・リッチ



犠牲

6月6日(土) 15:00~17:30

松本俊夫、かわなかのぶひろ特別対談

日本を代表する二人の映像作家が語る、映像の過去、現在、未来。

「実験映像の表現の可能性」 講演:松本俊夫(映像作家)

「実験映像の魅力:次世代の作家に向けて」

対談:松本俊夫(映像作家)、

かわなかのぶひろ(映像作家)

司会:黒岩俊哉(九州産業大学准教授)

※松本俊夫の講演の後、映画の参考上映があり、その後松本俊夫・かわなかのぶひろ対談という順で開催します。(時間詳細未定)

※講演、及び対談は有料で、イメージフォーラム・フェスティバルの1プログラムとして開催します。

※開場は開演の20分前。

E 6【土】12:50 日本4招待部門

「酒場 #7 『汀』渚ようこ新宿コマ劇場公演『新宿ガベバリサイタル』」

2009年/ビデオ/70分/かわなかのぶひろ

R 7【日】10:30 オーウェン・ランド作品集

「エッジ・レタリング、ごみ、スプロケット穴などが現れるフィルム」

1966年/16ミリ/4分/アメリカ/オーウェン・ランド

「澄ましバッテリーの表面に浮き上がるフィルム」

1968年/16ミリ/9分/アメリカ/オーウェン・ランド

「読解力回復」

1970年/16ミリ/5分/アメリカ/オーウェン・ランド

「この画面のどこがおかしい?」

1971年/ビデオ/5分/アメリカ/オーウェン・ランド

「イエスよ、永遠の今に感謝します」

1973年/16ミリ/6分/アメリカ/オーウェン・ランド

「ワイド・アングル・サクソン」

1975年/ビデオ/22分/アメリカ/オーウェン・ランド

「結婚仲介人の冗談について ジークムント・フロイトの著書『機知—その無意識との関係』からの引用あるいはアヴァンギャルド・アーティストは一概に括れるか?」

1979年/ビデオ/18分/アメリカ/オーウェン・ランド

K 7【日】12:50 英・伊・豪アニメーション傑作選

「クォーター」

2007年/ビデオ/3分/イギリス/ジェーン・チードル

「コブラ・ミスト」

2008年/16ミリ/7分/イギリス/エミリー・リチャードソン

「きずもの」

2008年/ビデオ/10分/イギリス/バーナービー・バーフォード

「ブラック・ドッグズ・プログレス」

2008年/ビデオ/4分/イギリス/ステファン・アーウィン

「プラー・ベルト」

2008年/ビデオ/9分/イギリス/セバスチャン・パークナー

「ジェフリーと恐竜」

2008年/ビデオ/7分/イギリス/クリストフ・ステガー

「ウィズアウト・ユー」

2008年/ビデオ/5分/イギリス/タル・ロスナー

「MUTO」

2008年/ビデオ/8分/イタリア/BLU

「チェンソー」

2007年/ビデオ/25分/オーストラリア/デニス・トゥピコフ



MUTO



チェンソー

N 7【日】15:00 「7915キロ ダカール・ラリーの轍の上で」

2008年/ビデオ/106分/オーストラリア/ニコラウス・ゲイハルター



19【金】14:00 25【木】14:00
27【土】11:00

胡同愛歌

The Parking Attendant in July



監督：アン・ザンジュン
出演：ファン・ウェイ
チェン・シャオイー

2003年/35ミリ/カラー/100分/中国/日本語字幕付き

18【木】14:00 20【土】14:00
26【金】19:00

北京の恋 四郎探母



監督：スン・ティエ
出演：チン・トン
前田知恵

2004年/35ミリ/カラー/98分/中国/日本語字幕付き

20【土】11:00
25【木】19:00

愛の歯

Teeth of Love



監督：チュアン・ユイシン
出演：イエン・ピンイエン
チー・チア

2007年/35ミリ/カラー/114分/中国/日本語・英語字幕付き

北京の胡同に住むトウは会社をリストラされ、やっと駐車場の案内係の仕事を得る。トウは花屋のソンと仲良くなり再婚して、息子と三人で暮らすことを考える。ところがソンの夫が刑務所から帰って来ると離婚はしないと言いつく。父と息子の絆を中心に北京の裏町で暮らす人々を人情味豊かに描いた作品。

引退した元京劇俳優の何はインターネットで京劇ファンと知り合う。京劇を学びたいという相手に快く応じるのだが、やって来たのは日本人の若い女性、橋本梶子だった。北京電影学院に外国人として初めて入学した前田知恵が主演、日本と中国の過去の歴史を乗り越えようとするラブ・ストーリーである。

77年不良少女だったイエホン、以後10年間にわたる三人の男性との恋愛を描いた作品。淡く切ない学生時代の恋、医学生時代の不倫、そして夫との愛のない結婚。本作の特徴はそれぞれに愛に常に痛みが伴っている点である。本作はチュアン・ユイシン監督のデビュー作だが、中国国内を含む世界各国の映画祭で高く評価された。

18【木】19:00 21【日】11:00
26【金】14:00

鄧小平



監督：ティン・インナン
出演：ルー・チー
ワン・スー

2003年/35ミリ/カラー/110分/中国/日本語字幕付き

19【金】19:00
27【土】17:00

窒息

Suffocation



監督：チャン・ビンジン
出演：グォ・ヨウ
チン・ハイルー

2004年/35ミリ/カラー/89分/中国/日本語・英語字幕付き

21【日】14:00
24【水】14:00

鳳鳴 中国の記憶

FENG MING A Chinese Memoir



監督：ワン・ピン

作品提供：特定非営利活動法人山形国際ドキュメンタリー映画祭

2007年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/183分/中国/日本語・英語字幕付き

三度の失脚を乗り越え、80年代以降の改革開放政策により中国の経済発展の基盤を築いた鄧小平の伝記映画。保守的な考えと対立しながらも、中国の発展を強力に推進した強い意志と実行力だけでなく、人間的な側面も描かれる。また80年代～90年代の中国の政治を見ることが出来る。日本で新幹線に乗る場面などが興味深い。

カメラマンのシェンは浮気をしていて、妻に気づかれ口論の末に妻を殺してしまう。シェンは死体を山に埋めるのだが、ある日死体が発見され事件となる。シェンは精神的に追いつめられ、妻の幽霊を見るようになる。中国映画初のサイコホラーと銘打たれた異色の作品。それまでの中国映画に見られない実験的な映像感覚が見られる。

50年代新聞社に勤めていた鳳鳴と彼女の夫は、反右派闘争や文化大革命によりいわれのない嫌疑をかけられ別々の収容所に送られる。政治に翻弄された約30年に及ぶ老女の物語を描いたドキュメンタリー。監督は「鉄西区」で注目を浴びたワン・ピンで、山形ドキュメンタリー映画祭でロバート&フランシス・フラハティ賞を受賞。

特別企画

現代中国映画特集

伝記映画、インディペンデント映画、ドキュメンタリーと、バラエティに富んだ内容の作品が製作されるようになった現代中国映画を特集。

会 期/6月17日(水)～27日(土)

※休館日・休映日を除く

観覧料/600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。※障がい者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)

17【水】14:00 20【土】17:00
27【土】14:00

雲南の少女 ルオマの初恋

When Ruoma was Seventeen

監督：チアン・チアルイ
出演：リー・ミン
ヤン・チーカン

少数民族ハニ族の17才の少女ルオマは祖母と二人暮らし。ルオマは普段は観光客相手にトウモロコシを売っていた。ある日漢族の写真家アミンは観光客が少数民族の少女と写真をとるのを見て、ルオマと観光客の写真を撮る商売を考える。ルオマの愛らしさもあり、商売は成功する。お金が貯まったら街でエレベーターに乗りたくて夢を語るルオマ。しかしアミンは恋人に棄てられ、村を出て行ってしまう。ルオマは淡い初恋が終わったのを感じるのだった。

主人公のルオマを演じる



のは実際のハニ族の少女で本作が映画初主演である。ハニ族の暮らす雲南省紅河は棚田で有名であり、その美しい景観は世界遺産にも登録されている。本作はこの棚田の世界遺産登録のプロモーションの目的を兼ねて製作されたものであるが、画面一杯に広がる美しい棚田と自然は十分に観客を納得させる。低予算で製作された映画だが、世界の映画祭で注目された秀作である。

2002年/35ミリ/カラー/90分/中国/日本語字幕付き

12【金】16:30 14【日】11:00

ある機関助手



監督：土本典昭
1963年/16ミリ/カラー/37分
岩波映画製作所

ドキュメント 路上



監督：土本典昭
1964年/16ミリ/モノクロ/54分
東洋シネマ

「ある機関助手」は62年に起きた三河島での列車事故を受けて、鉄道の安全性をPRしようと国鉄(現JR)が企画した映画。芸術祭文部大臣賞などを受賞し、土本監督が注目された作品。「ドキュメント 路上」は東京オリンピックに向けて都市整備が続く東京をタクシー運転手の視点から描いた作品。

12【金】19:00 13【土】11:00

留学生チュア スイリン



監督：土本典昭
1965年/16ミリ/モノクロ/51分
藤プロダクション

水俣病 その30年



監督：土本典昭
1987年/16ミリ/カラー/45分
青林舎＝シグロ

「留学生チュア スイリン」は千葉大学に在籍するシンガポールからの国費留学生チュア・スイリンが反政府抗議行動をとったことで大学を除籍された問題を扱った土本監督初の自主制作ドキュメンタリー。「水俣病 その30年」は56年に水俣病が発見されてから30年たった現状を描いた作品。「水俣病患者とその世界」以降一貫して水俣病に向き合い続ける土本監督の姿勢が現れている。

通常上映 土本典昭 監督特集

2008年6月24日に亡くなった日本を代表する記録映画作家・土本典昭の一周忌追悼上映。

会 期/6月10日(水)～14日(日)

観覧料/500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は250円(会員証の提示が必要です。)

10【水】14:00 13【土】14:00

水俣 患者さんとその世界



監督：土本典昭
1971年/16ミリ/モノクロ/167分
東プロダクション

ドキュメンタリー作家・土本典昭のライフワークともいえる水俣病を描いた最初の作品。65年にTVドキュメンタリーの撮影で水俣を訪れた土本監督は、患者達を目の前で衝撃を受け、彼らの真の姿を伝えたいと長編ドキュメンタリー制作を決意する。日本のドキュメンタリー映画史に記録されるべき傑作である。

11【木】14:00 14【日】14:00

不知火海



監督：土本典昭
1975年/16ミリ/モノクロ/154分
青林舎

水俣病の発見後の患者の現状、病氣としての水俣病、そして裁判での闘争を描いてきた土本監督が水俣湾を取り囲む不知火海に眼を広げた作品。本作は不知火海の特徴やその風土、そこに生きる人々の生活までも記録した作品で、土本監督の水俣病を描いた作品の一つの集大成ともいえる内容になっている。

11【木】19:00 12【金】14:00 13【土】17:30

映画は生きものの記録である 土本典昭の仕事



監督：藤原敏史
2006年/ビデオ/カラー/94分
ビジュアルトラックス

日本のドキュメンタリー映画の巨匠・土本典昭の人と作品について、30代の若い藤原監督が挑んだドキュメンタリー映画。「ある機関助手」や「ドキュメント 路上」といった初期作品から、土本監督の水俣との関わりなどが本人へのインタビューなどで語られる。素顔の土本監督が見られる貴重な作品。福岡初公開。

6月

上映スケジュール

1 月	休 館 日
2 火	休 館 日
イメー ジ フ ォ ー ム ・ フ ェ ス ティ バル	3 水 14:20 プログラムA 16:30 プログラムF 18:40 プログラムG
	4 木 14:20 プログラムB 16:30 プログラムH 18:40 プログラムI
	5 金 14:20 プログラムC 16:30 プログラムJ 18:40 プログラムP
	6 土 10:30 プログラムQ 12:50 プログラムE 15:00 松本俊夫・かわなかのぶひろ特別対談
	7 日 10:30 プログラムR 12:50 プログラムK 15:00 プログラムN
8 月	休 館 日
9 火	休 映 日
土本典昭監督特集	10 水 14:00 水俣 患者さんとその世界
	11 木 14:00 不知火海 19:00 映画は生きものの記録である
	12 金 14:00 映画は生きものの記録である 16:30 ある機関士/ドキュメント路上 19:00 留学生チュア スイリン/水俣病 その30年
	13 土 11:00 留学生チュア スイリン/水俣病 その30年 14:00 水俣 患者さんとその世界 17:30 映画は生きものの記録である
	14 日 11:00 ある機関士/ドキュメント路上 14:00 不知火海
15 月	休 館 日
16 火	休 映 日
現代中国映画特集	17 水 14:00 雲南の少女 ルオマの初恋
	18 木 14:00 北京の恋 四郎探母 19:00 鄧小平
	19 金 14:00 胡同愛歌 19:00 窒息
	20 土 11:00 愛の歯 14:00 北京の恋 四郎探母 17:00 雲南の少女 ルオマの初恋
	21 日 11:00 鄧小平 14:00 鳳鳴 中国の記憶
22 月	休 館 日
23 火	休 映 日
	24 水 14:00 鳳鳴 中国の記憶
	25 木 14:00 胡同愛歌 19:00 愛の歯
	26 金 14:00 鄧小平 19:00 北京の恋 四郎探母
	27 土 11:00 胡同愛歌 14:00 雲南の少女 ルオマの初恋 17:00 窒息
28 日	自主上映 [福岡映画サークル2009年第4回例会]
29 月	休 館 日
30 火	休 館 日

次号
予告

日仏交流150周年記念 シネマテークプロジェクト第一回企画

特別企画 フランス映画の秘宝

日本未公開作品を中心としたフランス映画の傑作を上映。
会 期：7月1日(水)～7月12日(日)※休館日・休映日除く
上映作品：「最後の切り札」「あなたの目になりたい」など全5作品。

松本清張生誕100年祭協賛

特別企画 松本清張映画祭

松本清張生誕100年を記念して清張原作映画を特集。
会 期：7月15日(水)～8月2日(日)※休館日・休映日除く
上映作品：「顔」「張込み」「眼の壁」「点と線」など全11作品。

◆◆◆福岡日伊協会映画鑑賞会◆◆◆

『わたしは目撃者』(1970年制作・115分)

監督:ダリオ・アルジェント/音楽:エンニオ・モリコーネ/出演:ジェームズ・フランシスカス、カール・マルデン他

日 時：2009年6月12日(金) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会 場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

主 催：福岡日伊協会 TEL092-476-2153(西日本シティ銀行内)

協 力：財団法人福岡文化財団

松本俊夫・かわなかのぶひろ特別対談

6月6日(土) 15時より開催

松本俊夫は、過去50年にわたって日本の実験映像を先導しつづけてきた作家だ。その表現は独自の洗練された理論体系と哲学的思想に裏づけられ、同時に革新的な技術を用いることで、まさにアバンギャルドという言葉がふさわしい。

また80年代には福岡で教鞭をとり、若い作家を数多く輩出したことでも知られている。さらに夢野久作の猟奇小説を原作に、劇映画「ドグラマグラ」のメガホンをとったことでもゆかりがある。

一方で、かわなかのぶひろの作品は日常映画とよばれるものだ。70年代から始まるこれらの作品群では、カメラは常にかわなか自身、つまり作家の眼として存在し、個人の日常の現場と観客を融合させる。

今回の講演と対談は、日本の実験映像の代名詞でもある二人の作家の、その根底に流れる力強い思想を解き明かそうというものだ。前代未聞の対談は、福岡にとっても表現を志す若い作家にとっても、極めて貴重なものとなるだろう。



松本俊夫

九州産業大学准教授 黒岩俊哉

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方は、下記のとおり利用申し込みの受付を行いますので、申し込み下さい。

利用申し込み対象期間：平成22年1月～平成22年5月まで

※別途配布の申し込み用紙に対象日を記載しています。

申し込み受付期間：平成21年5月22日(金)～6月11日(木)※休館日除く

抽 選 日：平成21年6月13日(土)午前11時より

抽 選 会 場：福岡市総合図書館3階 第2研究室

利 用 申 込 用 紙：福岡市総合図書館で配布中の申し込み用紙をお出し下さい。

自主上映のお知らせ

6月28日(日) 福岡映画サークル協議会2009年第4回例会

上映作品：未定

主 催：福岡映画サークル協議会(TEL:092-781-2817)

※詳細は直接主催者にお問い合わせ下さい。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

●西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分)
●博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分)
●福岡タワー南口バス停から徒歩3分
所要時間は交通事情により異なります。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)：092(852)0600

映像資料課：092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラHP <http://www.cinela.com>